

世代を超えた真剣勝負

世代間交流&バルーンアートショー

8月26日、交流センターで「世代間交流 オセロ大会」が開催されました。オセロを通して子どもたちと大人との交流を図ろうと、町と社会福祉協議会が企画。老人クラブ連合会や民生委員・児童委員などから23人、子どもは37人が参加し、大人も子どもも真剣な眼差しで白熱した試合を繰り広げました。

オセロ対局の後は、バルーンアーティストの藤岡秀和さんによる、バルーンアートショーを鑑賞。剣や花を模したバルーンアートを始め、はなかつばやミニオンなど有名なキャラクターも制作され、子どもたちは大興奮でした。



▲トッパ丸も駆けつけみんなで集合写真



▲交流を楽しむ参加者



▲様々なバルーンアートが披露されました

ごみの出し方について ～有明広域行政事務組合からのお願い～

ごみ焼却施設クリーンパークファイブにおいて、不燃物（陶器・ガラス・金属など）の混入による詰まりが発生し、数日にわたり施設の稼働が停止する事態が起こっています。

燃えるごみの中にスプレー缶・針金などの金属類が多く混入して、焼却できずに燃え残ることで施設の故障や爆発等の事故の原因となる危険性があります。

このような施設の故障や事故が発生した場合、修理には多額の費用や時間がかかり、その間、ごみ処理が滞ることで、皆さんの生活に多大なる影響が及ぶ恐れがあります。

住民の皆さんには、より一層のごみ分別の徹底についてご理解とご協力を賜りますようお願いします。

有明広域行政事務組合

ホームページ 記事のURL

<https://www.ariake-kouiki.or.jp/gyousei/oshirase/21511>



☎ クリーンパークファイブ ☎78-4433
税務住民課 環境対策係 ☎57-8579

行政相談活動に大きく貢献

行政相談員総務大臣賞受賞報告会

9月13日、南関町の行政相談員である野田泰臣さんが町長を訪問し、9月4日に東京で行われた行政相談員総務大臣表彰受賞の報告を行いました。野田さんは約17年間に渡り、南関町社会福祉協議会において、月1回行政に関する相談やコロナ禍での相談にも対応され、解決に向けて尽力されてきました。今回の表彰を受けて野田さんは、「永年続けてきた行政相談員活動を評価していただいたのはありがたい。あと半年ほどの任期にはなるが、今後も住民の皆さんの暮らしをより良くするような手助けをしていきたい」と話されました。



▲表彰を受けた野田泰臣さん(写真中央)

住民の皆さんが涼める場所に

日本郵便株式会社九州支社と「指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)協定」締結式

8月15日、町は熱中症による人の健康に係る被害の発生と防止を図るため、日本郵便株式会社九州支社と指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)協定の締結式を行いました。この協定は、町内4カ所にある郵便局を熱中症特別警戒アラートが発表された際の暑熱避難施設として利用できるように取り決めたもので、九州の郵便局では初の試みとなります。佐藤町長は「今後も町内の4郵便局様と協力し、住民の皆さんが安心して元気に暮らせる地域づくりを目指します」と話しました。



▲左から右山局長(大原)、田上局長(賢木)、西田局長(坂下)、佐藤町長、竹元局長(南関)、西川九州支社熊本地方本部長、荒木県北部地区統括局長

全国大会でも見事入賞

芦原会館南関支部木村道場

8月8日、芦原会館南関支部木村道場に所属する選手3人が町長を訪問し、8月24日～25日に愛媛県で開催される「第2回芦原会館全日本Jr.SABAKIトーナメント」への出場を報告しました。大会へ向けて中村陽彩さんは「前回大会で優勝したので、今回も優勝できるように頑張ります」、木村陽斗さんは「得意の型の部で優勝できるように頑張ります」、奥村健誠さんは「練習してきたことを活かして優勝できるように頑張ります」と抱負を語りました。

大会では中村陽彩さんが型の部と組み手の部で優勝し、大会敢闘賞も受賞。木村陽斗さんが型の部で準優勝を果たしました。



▲左から井下忠俊さん、木村康弘さん、中村陽彩さん、木村陽斗さん、奥村健誠さん、佐藤町長



▲敢闘賞を受賞した中村陽彩さん



▶芦原会館のみなさん